

すなお

令和2年5月号



明治二八年五月二十三日

見る一つ聞く一つ、いかな
理も悟るであろう。

もう今更、一年前には戻れません。だから「前は
こうだった」「こういうこともできたのに、、、」
と嘆いても何にも変わらないのです。そうなれば覺
悟を決めて前に進むしかありません。

私達の信仰は、後ろを振り返る信仰ではなく前に
進む信仰です。つまり、反省やさんげをすることが
主ではなく、これからどうするかを決め心を定めて
前に進む信仰です。そこに明るさも生まれ、勇みも
出でます。“節から芽が出る”と教えていただき
大切な教理の角目です。また節から芽を出さねばな
りません。

(次ページへ)

おやのことば

会長

いかな事も夢に知らせ案じ
置きたる。成程これであつ
たか。これまで知らなんだ。
知らなんだ。夢々一つの理、
見る一つ聞く一つ、いかな
理も悟るであろう。

日々刻々と変化していく状況の中で、何とか前に
進もうとつとめておられることがあります。そんな
中で私も常に教祖にお尋ねをしながら通らせていました
テレビの報道などを見れば今まで出来ていたこと
が出来なくなり、どうしようもないという場面もみ
ます。その反面、こんな時だからこそ出来ることも
あると知恵を働かせる人もあつたり、無償で奉仕を
される人もあつたりと窮地に陥った時の行動が目に
止まります。



すなお (立教183年5月号)

通 巻
發行所

No.718
天理教瀬戸路分教会
794-0007 今治市近見町4-5-10
0898-23-5004

FAX 0898-23-5123
發行日 2020.5.16
二宮英治

責任者

私が若い頃、親会長さんよ
り何かの節目の際に

「英治、せつかく神様がくれ
た節を通るなら後々話のたね

になるような節の通り方をし
なさい」と諭されたことがあります。

その意味は苦しい時

にただ（苦しかった、大変だつ
た）だけで終わつたとしたら、

それほどもつたいないことは
ない。あとで（あの時は教祖

のひながたを思案して、この

ように喜びに切り替えて通ら
せていたいた）と言えるよ

うな節の通り方をせよ、とい
うことでした。

今は全世界がいたいとい
る節です。この節から何を学
び、何を味わい、何を得るの
か。それは一人ひとり違いま
す。不足、文句、不公平からは
何も生まれません。お互
いに初めて味わうこの大節を
かり味わい切りましょう。

親の心

椿 信代



妹から定期的に子どもの写真や動画が送られてきます。こんな状況なので、元気に育っている甥っ子たちの顔を見るのが唯一の癒しです。

どんどん成長する子どもを見ていると、自分も小さい頃にたくさん的人に見守られて育ててもらったこと、そして時には厳しくしつけられたことを思い出します。

当時は怒られることは大嫌いでしたが、体は大人でも中身が幼いままの人も多く、ただ可愛がるだけが親の愛情ではないことも今なら少し分かる気がします。

神様のご守護と親心に育てていただいたこと、この先自分がいつか親になる時が来たら次の世代へと繋げていきたいと思います。

【月次祭のつとめ方について】

今月の月次祭も教会家族と役員が代表でつとめさせていただきます。愛媛県の方針では今月11日より様々な規制も緩和される方向に向かっていますが、未だ緊急事態宣言は解除になっていません。少しずつですが、感染者の数も減少して良い方へ向かっているようには思いますが、まだまだ油断は出来ない状況だと思います。来月以降の方法は、今後の政府や県の方針に合わせて判断をし決断をしましたら連絡をさせていただきます。

なお、月次祭の日に合わせての参拝は午前10時から午後1時までの時間を敢えて避けてお互いが重ならないようにお越し下さい。

これからもどのような形になっていくとしても神様の御守護あっての日々であることに違いはありません。形にこだわらず、心をしっかりと神様につないでつとめて下さい。

教会ニュース

- 本部の5月月次祭の参拝も控えていただくように連絡がありました。それが教会、講社、自宅から遙拝をして下さい。
- 今は全国的に緊急事態宣言が出ていることを考え、今治、松山、宇和島、奈良、大阪、兵庫等の講社祭に教会からは行かないと決断をし、それぞれの講社の皆さんでつとめていただくようにお願いしました。これは会長、奥さんが動き回ることで信者の皆さんへ感染させてしまうかもしれないとの判断からです。
- 教会への日参、参拝等は当面変わりなくつとめて下さい。
- コスマックバンドの活動は現在も活動休止となっていますが、先月子どもおぢばがえり中止決定の連絡がありました。非常に残念ですが今後の活動においても、ともかく今の状況が収まらない限りバンド練習も出来ませんので、そのことを優先して考えていきます。

婦人会創立110周年 日々の理御供 報告

4月には71,160円を上級葛城へ運ばせて頂きました。



2018年4月から3年間仕切って、婦人会創立110周年へ向けての『日々のお供え』を真実につとめて下さり、誠にありがとうございました。

お供えは月々、葛城から、大教会を通してご本部へと届けさせていただきました。

葛城の奥様、大教会の奥様も大変お喜び下さっておられました。

3年間のお供えの総額は、1,246,659円となりました。

編集後記

学校は徐々に再開に向けて進み始めました。私はリモートワークの日々です。長い巣ごもりが終息する日が1日でも早く来るよう願っています。また笑顔で皆さんと会える日を楽しみにしています。 (編集: K)